

体育科学習指導案

学習者 附属小学校6年3組 34名
指導者 丸小野 聡暢

単元名 ボール運動 ゴール型バスケットボール

1. 単元の目標

- (1) バスケットボールの行い方を理解することができるようにする。また、パスやシュートなどのボール操作やボールを受けるための動きによって攻めたり、それをさせないように守ったりして簡易化されたゲームをすることができるようにする。 【知識及び技能】
- (2) ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を選んだりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】
- (3) 運動に進んで取り組み、ルールを守り、助け合ったり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

2. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
①バスケットボールの行い方について、言ったり書いたりしている。 ②近くにいるフリーの味方にパスを出したり、ボールを受けることのできる場所や得点しやすい場所に動いたりして、パスを受けたりシュートをしたりしている。	①ゴール型のゲームをみんなが楽しんで行えるようにルールを工夫している。 ②パスを出したりボールをもらったりする時の工夫を考えている。 ③自分のチームの特徴に応じた作戦を立てて選んでいる。	①ゲームや練習に進んで取り組もうとしている。 ②ルールを守り、仲間と助け合っ てゲームや練習をしようとして いる。 ③場や用具の安全を確かめてい る。

3. 指導と評価の計画（7時間）

（1）単元指導計画と評価計画

時間	1	2	3（本時）	4	5	6	7
ねらい	学習の進め方の見通しをもつ。	基本的なボール操作の方法を知り、ルールを覚えて取り組む。	パスを出したりボールをもらったりする時の動きを身につける。		チームに合った簡単な作戦を選んで取り組む。		バスケットボール大会を行う。
学習活動	1. 本時の学習内容と1時間の流れの確認 2. 準備運動 3. 試しのゲーム・役割分担を行う。 4. 整理運動 5. 振り返り・片付け	1. サーキット運動 2. めあての確認 3. ルールの確認 4. ゲーム 5 整理運動 6. 振り返り・片付け	1. サーキット運動 2. めあての確認 3. ルールの確認 4. ゲーム 5 整理運動 6. 振り返り・片付け	1. サーキット運動 2. めあての確認 3. ゲーム 4. 整理運動 5. 振り返り・片付け			
評価の重点	知・技	① 観察・ICT 学習カード				② 観察・ICT 学習カード	
	思・判・表		② 観察・ICT 学習カード	① 観察 学習カ	③ 観察 学習カード		
	主体	①③ 観察 学習カード					② 観察 学習カード

(2) 指導と評価の計画

時	ねらい (◆) と主な学習活動 (○)	評価規準 (評価方法)		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆バスケットボール型の学習の進め方について、試しのゲームや練習をすることを通して、学習に見通しをもち進んで取り組もうとすることができる。			
	○オリエンテーション (本時の学習内容と1時間の流れの確認) ○試しのゲーム ○振り返り (視点: みんなが楽しくゲームができるような工夫) 【想定される児童の姿】 ・バスケットボール型の学習の進め方が分かった。 ・場の準備の仕方が分かった。			○①③ 〈観察・学習カード〉
2	◆バスケットボール型のゲームの行い方について、簡易なルールを設定することを通して、みんなが楽しめるゲームの行い方を知ることができる。			
	○ルールの確認・サーキット運動 ○簡易的なゲーム ○振り返り (視点: パスをもらうための動き方) 【想定される児童の姿】 ・パスをもらえたりシュートが打てたりするルールにすると楽しい。	○① 〈観察・ICT 学習カード〉		
3 本時	◆ボールを受けるための動きについて、兄弟チームで画像を確認してお互いにアドバイスしたり教師がゲームを止めた際にパスのもらい方について確かめたりすることを通して、工夫を考えることができる。			
	○サーキット運動 ○簡易的なゲーム ○振り返り (視点: より良いルールの工夫) 【想定される児童の姿】 ・敵がいなくて動くとパスをもらえる。 ・前ばかりでなく、ボールを持っている人の近くに帰るとパスをもらえる。 ・声を掛けたり(名前を呼ぶなど)、手を上げたりするとパスをもらえる。		○② 〈観察・ICT・ 学習カード〉	

4	<p>◆バスケットボール型のゲームの行い方について、みんなが楽しめるという視点で話し合うことを通して、ルール工夫を考えることができる。</p> <p>○サーキット運動 ○簡易的なゲーム ○振り返り（視点：チームに合わせた作戦）</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームみんなでパスを回して得点するとボーナスポイントがもらえるといい。 		○① 〈観察・学習カード〉	
5	<p>◆パスをつなぐための動きについて、チームや仲間の特徴に合った動き方について考えることを通して、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたり選んだりすることができる。</p> <p>○サーキット運動 ○簡易的なゲーム ○振り返り（視点：選んだ作戦の良さや課題）</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスをもらうためには一人だけでなくみんなが連動して動くといい。 <p>作戦例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのこり作戦：ロングパスを使う ・パス回し作戦：みんなが走って短いパスをたくさんつなぐ ・声かけ作戦：パスをうまくつなぐためにみんなでフリーな人を探して声をかけ合う ・三角作戦：三角形を意識してパスを回す 		○③ 〈観察・学習カード〉	
6	<p>◆パスをつなぐための動きについて、自分のチームに合った作戦を試したりマークを外す動きを練習したりする事を通して、パスを受けたりシュートしたりすることができる。</p> <p>○サーキット運動 ○簡易的なゲーム ○振り返り（視点：大会に向けてのめあて）</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのチームにはパス回し作戦が合っている。 	○② 〈観察・ICT学習カード〉		
7	<p>◆バスケットボール型のゲームの行い方について、前時までの振り返りをもとに作戦を選んだり、パスをもらうための声かけをしたりすることを通して、ルール守り友達と助け合ってゲームを行なおうとすることができる。</p> <p>○サーキット運動 ○バスケットボール大会 ○単元のまとめ（視点：単元を通して学んだこと）</p>			○② 〈観察・学習カード〉

	<p>【想定される児童の姿】</p> <p>・今までの練習を生かしてパスを回してチームのみんなが楽しめる試合が出来たらいいと思う。</p>			
--	--	--	--	--

4. 本時の指導（3/7）

本時のねらい	ボールを受けるための動きについて、兄弟チームで動画を確認してお互いにアドバイスしたり教師がゲームを止めた際にパスのもらい方を確かめたりすることを通して、工夫を考えることができるようにする。
評価規準	ボールを受ける動きについて、工夫を考えることができる。
具体的な児童の姿	振り返りに「敵がいなくて動くとパスがもらえる」「前ばかりでなくボールを持っている人の近づいた、後ろに戻ったりするともらえる」「ボールをもらう時に、声をかけたり、手を上げたりするとパスがもらいやすい」などと書いている。

時間	児童の動き	指導○及び留意点・◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
8分	1. サーキット運動をする。	○サーキット運動を行うようにする。 ・あいさつ、健康観察、サーキット運動の順で行う。 ・サーキット運動はバスケットボールの動きにつながるようにドリブル、パス、シュート、準備運動を一連の流れで行う。	バスケットボール
5分	2. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <p>・敵がいなくて動くとパスがもらえる。</p> <p>・前ばかりでなく、一度戻るとパスがもらえる。</p> <p>・声を掛けたり（名前を呼ぶなど）、手を上げたりするとパスがもらえる。</p> </div>	○前時の振り返りから、本時のめあてを位置付ける。 ・前時の振り返りから、パスをもらうための動きについて困っている映像を見せ、どのようにすればよかったのか考えられるようにする。 ※切り取った画像をTVに写し、ペンで書き込みながら、動きや工夫が視覚的に分かるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて</p> <p>パスをもらうための工夫を考えよう</p> </div>	ホワイトボード・TV・タブレット・拡大掲示画像
25分	3. ゲームを行う ・ゲーム①	○ゲーム①②を兄弟チームで撮影し合い、パスをもらうための動きについて話し合うようにする。	ビブス・得点板

	<p>【10分】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合い <p>【5分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲーム② <p>【10分】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各チームとも1試合（4分）行う。 審判や動画撮影などの役割分担を確認し、スムーズに試合が行えるようにする。 動画撮影はパスをつなげなくて困っていたり、パスをもらうための動きをしたり、うまくつながったりした場面を撮影するように声をかける。 パスをもらうための動きを意識する声かけを行う。 ゲームを途中で止めて、パスをもらうための動きを確認することができるようにする。 <p>※動きや工夫が分からない児童には、ゲームを止めた時に、ボールがもらえる位置に動かして、ゲームを再開するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いでは、撮影した動画を見たり、実際にコートを使ったりすることでパスをもらうための動きについてチームで考えられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>試合の組合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> 全8チーム（兄弟チーム AB、CD、EF、GH） <p>〈ゲーム①〉</p> <p>1 試合目 （前のコート） A 対 G （後のコート） C 対 E</p> <p>2 試合目 （前のコート） B 対 H （後のコート） D 対 F</p> <p>〈話し合い〉</p> <p>〈ゲーム②〉</p> <p>3 試合目 （前のコート） A 対 G （後のコート） C 対 E</p> <p>4 試合目 （前のコート） B 対 H （後のコート） D 対 F</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>工夫したルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ボール保持者は、5歩以上歩いてはいけない。また、ドリブルをして止まった後、再度ドリブルは行えない。（トラベリング・ダブルドリブル） 1回のドリブルでボールをつけるのは3回まで。 ボールを持っている人のボールは取らない。 守備をするときは、攻撃側と接触したら反則とする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ゲーム②は、各チームの1試合目の振り返りをもとにパスをもらう動き方を意識させて試合を行うことができるようにする。 ◎ボールを受けるための動きについて、工夫を考えている。 （観察・学習カード） 	<p>タブレット・笛</p> <p>学習カー</p>
2分	4. 整理運動をする	○簡単なストレッチ運動を行うようにする。	
5分	5. 学習の振り返り	○めあてについての振り返りを行うことで、次時へつながるよ	

	を行い、次時へつなげる	うにする。 ・パスをもらうための工夫や本時の困りを出し合うことで、次時に向けて意欲が高まるようにする。	ド・筆記 用具
--	-------------	--	------------